

第 7 期総合計画策定に係る町民アンケート等調査結果について

次期総合計画の策定にあたり、地域の実情と将来への展望を的確に反映させるため、町民や町内企業、役場職員を対象とした多角的な意見聴取を実施いたしました。

本調査等を通じて、町民が描く「住みよいまち」の姿を把握することはもとより、「フューチャーデザイン」手法の導入により、現代の課題のみならず「将来世代」の視点に立った議論を行うことで、これらの多様な主体による「生の声」を、現状の課題解決に留まらない長期的な視点を備えた、実効性のある計画策定の重要な基礎資料として活用してまいります。

1. 町民アンケート調査

- (1) 対 象 者 令和 7 年 7 月 1 日時点で町内に居住する 18 歳以上の町民から 1,100 名を無作為に抽出。
- (2) 手 法 等 郵送による配布・回収及びオンラインフォームにより実施。
期間は令和 7 年 8 月 29 日～9 月 26 日（以下 2, 3 も同様）。
- (3) 回答状況 配布数 1,100 件に対し、有効回答数 484 件。有効回答率は 44.0%。

2. 中学生・高校生等意識調査

- (1) 対 象 者 令和 7 年 7 月 1 日時点で町内に居住する 13～18 歳の町民 305 名。
- (2) 回答状況 対象者 305 名に対し、有効回答数 188 件。有効回答率は 61.6%。

3. まちづくり企業アンケート調査

- (1) 対 象 者 南幌工業団地企業協議会員のうち、町内に事業所がある 42 社。
- (2) 回答状況 対象 42 社に対し、有効回答数 18 社。有効回答率は 42.9%。

4. まちづくりワークショップ

- (1) 対 象 者 ①町 民 中学生以上の町民。
②町職員 係長職以下の役場職員。
- (2) 実施方法 4 人 1 組の班構成で、予算制約（コスト合計 28）の下、23 の施策から優先すべき施策を選択。
フューチャーデザイン手法を導入し、現在世代と 30 年後の仮想将来世代の双方の視点で議論を実施。
- (3) 参加状況 ①町 民：25 名（うち中学生 4 名）。令和 7 年 11 月 9 日に実施。
②町職員：23 名。令和 8 年 1 月 20 日に実施。
- (4) そ の 他 大阪大学大学院工学研究科附属フューチャーイノベーションセンターの監修・協力により実施